

『今日は、神仏混合時代について話をしようと思うぞ。先日、戸隠神社へ行ったんじゃよ。そこで、とても興味深い話を聞いてのう。戸隠神社の話を変えながら、東円寺と忍草浅間神社の関係を考えてみたいと思っておるぞ。明治の廃仏稀釈は、それまでお宮とお寺、宗教的に言えば仏教と神道は長い間共存しておったのに、政治的な働きによって無理矢理分離されたんじゃ。しかし、仏教を選ぶのか、または神道を選ぶのかは、個々に委ねられたわけじゃ。それぞれに生活があるからう、選択によっては生活が成り立たなくなる心配もあったと思うぞ。檀家のある寺院は寺院として、修験道のように祈祷などの収入源に頼っている場合は、還俗と言って一般人になった人も多いんじゃ。しかし、戸隠神社は圧倒的に修験寺院が多く、信者さんも多かった・・・そこで、お坊さんが神主さんの資格を取得して、神社として残ったんじゃよ。』



クニマッスン  
出生地 忍野村  
山梨県水産技術センター  
□癖 でまっすん..

ふじのだいがこうざえもん  
富士大我講左衛門 年齢不詳  
職業 大我講の先達  
(先達とは案内責任者)



『それはとても興味深い話でまっすん。戸隠神社は三大霊山と呼ばれ、比叡山・高野山・戸隠山と修験道の修行場として尊ばれていたでまっすん。現在でも、パワースポットとして有名で、奥宮へ行く参道は約2Kの山道を歩かなくてはいけないでまっすん。けれども、足の悪い人や幼い子供を連れ家族など、戸隠山の不思議なパワーを求めて多くの人がお参りに来ているでまっすん。江戸時代は、戸隠山顕光寺という本寺があり、比叡山延暦寺・東叡山寛永寺の直末でまっすん。』

『戸隠神社は、おみくじも有名なんじゃよ。徳川家康の懐刀と言われた天台宗の僧侶天海大僧正はある日霊夢を見たんじゃ。夢に元三大師(慈恵大師)が現れて、「信州戸隠にある観音籤(かんのんせん)を私の影像の前に置き、信心こらして占えば、願いに応じて吉凶、禍福を知ることが出来るだろう」と言われたんじゃ。天海は元三大師に深く帰依していたからう。早速戸隠に人を遣わしたんじゃ。御神前にあった五言四句の占文を竹の札に書き写して筒に納め、経を唱えゆすりながら筒の口から出た籤で占ってみると、将来のことが的確に手に取るように明らかであったと言いうんじゃ。夢のお告げということもあって、江戸っ子の間でおみくじが広まったんじゃ。興味深いのは、戸隠神社のおみくじは、当時はお経を唱えて占っていたが、現在は、神職が祝詞をあげておみくじの筒を振るという方法なんじゃ。』

『一般的には、廃仏稀釈によって神社になると仏像は壊され、しきたりなどは無視されてしまう傾向にあるでまっすん。けれども戸隠神社は、仏像は縁の深い家にお祀りされ、おみくじは、仏教色の強いくじで、現在に受け継がれているでまっすん。』

『次回は、おみくじの歴史について話をしようと思っておるぞ。おみくじも引き方があるんじゃよ。おみくじは身近なものとなり、くじ引きのような扱いじゃが、本当は違うんじゃよ。』